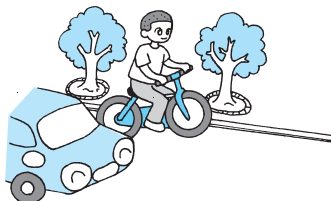


◆自転車安全利用五原則◆

※これらの違反行為には罰則が科せられます

ルール1 自転車は車道が原則、歩道は例外

道路交通法上、自転車は軽車両と位置付けられています。したがって、歩道と車道の区別のあるところでは車道通行が原則です。

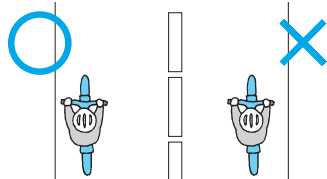


★身体障害者用の車いす（規定の原動機を用いたものを含む）や、二輪車を押している人は歩行者とみなされます。



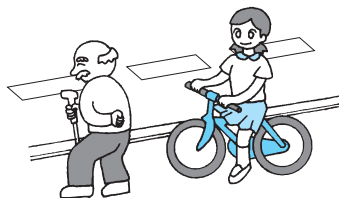
ルール2 車道は左側を通行

自転車は道路の左端に寄って通行しなければなりません。



ルール3 歩道は歩行者優先で、車よりを徐行

歩道では、すぐ停止できる速度で、歩行者の通行を妨げる場合は一時停止しなければなりません。



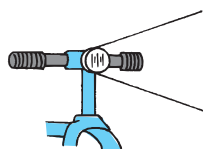
ルール4 安全ルールを守る

■飲酒運転は禁止

自転車も飲酒運転は禁止。



■夜間はライトを点灯

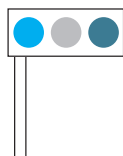


■二人乗りは禁止

6歳未満の子どもを1人のせるなどの場合をのぞき、二人乗り禁止。

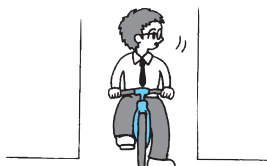


■信号を守る



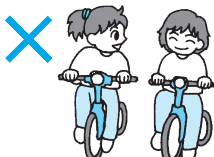
■交差点での一時停止と安全確認

一時停止の標識を守り、狭い道から広い道にでるときは徐行。安全確認を忘れずに。



■並進は禁止

「並進可」の標識のある場所以外では、並進禁止。



ルール5 子どもはヘルメットを着用

児童・幼児の保護責任者は、児童・幼児に乗車用のヘルメットをかぶらせるようにしましょう。



再確認しよう! 交通ルール

〜自転車安全利用五原則〜

いよいよ、子どもたちには楽しみな夏休みがやってきました。この時期、子ども同士で自転車で遊びに行くことも多くなります。しかし、道路にはたくさんの危険がひそんでいます。

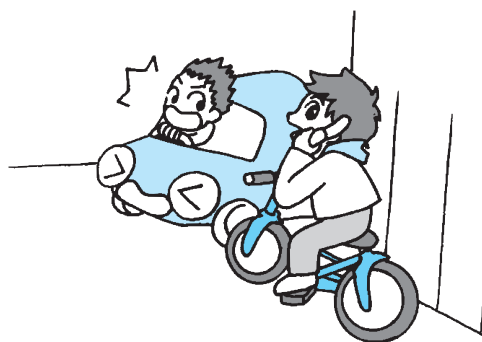
交通事故にあわないように、みなさんで、もう一度交通ルールを再確認して、楽しい夏休みを過ごしましょう。

問合せ 役場生活環境課交通防犯係

☎295-2112 内線213



運転中の携帯電話



傘さし運転

